

3 同志社大学

Doshisha University

同志社大学フォーミュラプロジェクト

Doshisha University Formula Project

<http://dufp.net> , <http://blog.dufp.net>

第13回大会を終えて



Presentation

プレゼンテーション

同志社大学フォーミュラプロジェクトは、伝統のコンセプトである「速くて操作性の良い車両」を本年も引き継ぎ開発を行いました。前年度車両の走行性能やコースを分析した結果、旋回性能の向上によって、より速い車両の開発が可能であると判断し、「コーナリング性能の追求」を開発目標として掲げました。これを達成するため、特に「進入手前の制動力」、「操舵時の車両挙動」、「脱出時の加速力」の3点に着目し設計を行いました。

各パーツが集まり最適な性能を発揮できるようにも気を配りました。これらにより最速の車両をめざしました。滞りなく車両の設計・製作を進めるためにスケジュール管理にも力を入れましたが、新規部品の導入・開発が必要であったことなどから十分な時間を確保することができず、検証等のための時間の確保が不十分となり反省すべき結果となりました。スケジュール管理をはじめ、さまざまな問題が発生しましたがチームが一丸となり、それぞれがやるべきことを行なうことで大会に臨むことができました。

Participation report

参戦レポート

今年度も我々は昨年までの問題点の改善と、成功点の更なる改良を心がけ、総合優勝を目標に活動してきました。例年、高得点を獲得することができている静的審査に関しては、内容の正確さや訴求性をより精査し、完成度の高いものを完成させることができました。動的審査に関してはこれまでの反省を踏まえ、新規部品の導入などの新たな取り組みをはじめました。

しかし、その結果は残念ながら昨年よりも1つ順位を落とし、総合4位となってしまいました。3年間続けて3位を獲得してこれたことから、今年度は大いに反省すべき結果となりました。静的審査においては昨年同様コスト審査において1位を獲得できたことに加え、プレゼンテーション審査においても1位を獲得することができ、レベルアップができたと思います。デザイン審査の順位は昨年よりも1つ劣る5位となりましたが内容的にはより良いものが完成したと思っています。

動的審査の大きな得点向上をめざしていましたが、残念ながら静的審査ほどの得点は得られませんでした。原因となった部品の故障は、スケジュール管理が充分にできておらず検証や対応に余裕を持って対応できなかったために発生したものであり、チームマネジメントが不十分であったと反省しています。この反省をもとに来年に向けて新たな管理体制でチームを運営し、より良い結果を残せるよう鋭意努力していきたいと思っております。

最後に私たちが応援、ご支援してくださったOB・OG、父兄、大学関係者の方々、スポンサーの方々にこの場をお借りして御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



今回の総合結果・部門賞

- 総合4位 ●ICV総合優秀賞 4位
- コスト賞1位 ●プレゼンテーション賞1位

Profile チーム紹介・今までの活動

同志社大学フォーミュラプロジェクトは2002年に結成され、第1回大会から参戦しているチームです。メンバーは学部1~3回生で構成されており、個々の経験は浅く、技術力もまだまだ高いとはいえませんが多くの皆さまの支援のもと、チーム一丸となって優勝をめざし、日々活動しています。

Team-member チームメンバー

林 豊 (CP)

藤井 透 (FA)、田中 達也 (FA)、大窪 和也 (FA)、千田 二郎 (FA)

長村 弘一、神部 尚紀、岩本 誠也、中澤 優、西田 真也、於本 裕之介、安東 良祐、森 純平、本川 勇哉、西脇 佑太、宇高 希、JIN YUKAI、阿瀬 有佑実、城戸 咲乃、三浦 一郎、森下 祐、田中 達也、月本 啓太、山内 昌咲、中川 亮太郎、宮良 英明、土井 啓史、加藤 宏和、鈴木 大志、道家 隆平

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、堀場製作所、ヒロミツ製作所、鬼頭歯車、日信工業、和光ケミカル、ソリッドワークスジャパン、ヤンマー、エクセディ、サンスター技研、ミスミ、NTN、NOK、やまと興行、THK、F.C.C.、RSワタナベ、ティラド、ATS、プロト、RSタイチ京都店、GS ユアサ、丸紅システムズ、ムトーエンジニアリング、住友電装、丸三自動車商会、アンダーレ、協和工業、江沼チエン製作所、サム・ジャパン、ジェイテクト、キノクニエンタープライズ、MathWorks Japan、T2Racing、大東ラジエーター、ダウ化工、三和メッキ興業、VI-grade、深井製作所、アルテアエンジニアリング、RAC、スポーツランド生駒、アンシス・ジャパン、ダイハツ工業、京都サンダーホルト、アクセル・オン、美加ノ原板金塗装、大倭印刷、日鐵住金溶接工業、富士精密、マイナビ、日本発条、竹の高度利用研究センター、同志社エンタープライズ

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/3.html>